

カンボジア募金取組について

生徒会執行部

文化祭が間近に迫ってきました。今年度もカンボジア募金を行いたいと思います。

目的：世界の子供たちの現状について知ってもらうため。

日時：生徒→10月21日（金）（7時30分～7時45分）昇降口

保護者→10月22日（土）武道場入口受付

① 午前の部終了から10分間（12時15分～12時25分予定）

② 午後の部開始前10分間（12時50分～13時）

※募金のお金は、必ず朝に提出してください。また、募金以外のお金は持ってこないようにしましょう。

そこで、カンボジアや今までの募金活動について紹介します！！

1. カンボジアの現状

カンボジアは、アジア州にある人口約1500万人の国です。（日本の人口約1億3000万人）近年都市部は急速に発展していますが、反対に農村では、貧しい人々が多くいます。子どもたちも家を持たず、道端で生活したり、家族のため小さいころから働いたりしています。生きるために盗みを働いてしまう子どもたちもいます。そのため、ほとんどの子どもが生きることに必死で教育を受けることができていません。



私たちのように、安全な家の中で当たり前のようにご飯を食べて、学校に登校することができていないのです。

2. 芦北町の取組

このような子どもたちを救うため、芦北町では「カンボジアに学校を贈る運動」を行っています。学校名を「芦北ひまわり学校」とし、ひまわりのように明るい学校になってほしいという願いが込められています。すでに、6校がカンボジアに建設され、たくさんの子どもの笑顔があふれています。現在7校目の建設を目指し、募金を呼び掛けています。

3. わたしたちにできること

このように、芦北町では、国際貢献の活動が積極的に行われています。田浦中学校でも、昨年募金を行い学校建設に貢献しました。私たちの支援する思いやりの気持ちが、苦しむ子どもたちを救うことにつながります。私たちが送っている日常に感謝し、カンボジアのひまわり学校建設に貢献しましょう。

